南知多町

行政情報システム更新事業

提案依頼書（RFP）

令和 8 年 10 月

南知多町

文書管理

項目	内容
文書名	南知多町 行政情報システム更新事業 提案依頼書
版数	第 1.0 版
発行者	南知多町
配布区分	提案参加事業者向け
質問窓口	南知多町　総務部総務課
提案書提出期限	令和 8 年 12 月 3 日（木）午後 5 時（必着）

目次

1. 提案依頼の趣旨

2. 調達の背景・目的

3. 調達範囲

4. 現行環境および前提条件

5. 提案に求める基本方針

6. 機能・機器要求事項

7. プロジェクト遂行要件

8. データ移行・切替要件

9. 運用・保守要件

10. 追加提案

11. 提案書作成要領

12. 現行保守事業者

別紙 1 要求事項回答票

別紙 2 見積条件

1. 提案依頼の趣旨

南知多町（以下「本町」という。）は、行政情報システムの更改に当たり、現行業務を安定的に継続しつつ、情報セキュリティの確保、データ移行の確実性、職員工数の削減及び移行リスクの抑制を実現する提案を募集する。

提案者は、要求事項への適合可否だけでなく、実現方式、移行対象、検証方法、責任分界、職員作業、停止時間、リスク、対策、費用および工程を具体的に示すこと。

2. 調達の背景・目的

本事業は、以下を目的として実施する。

- 現行サービスの安定継続と、切替時の行政事務への影響の最小化
- Active Directory、グループウェア、メール、資産管理等のデータ・設定・権限・履歴の可能な限りの継承
- 職員による端末再設定、アカウント再登録、データ再入力、操作手順変更および問い合わせ対応の削減
- LGWAN 接続系、インターネット接続系の安全な分離とファイル授受統制
- 現行保守事業者、メーカーおよび関係システム事業者を含む責任分界の明確化と窓口の一元化
- 構築期間を含まない 5 年間において、安定的に利用・運用できるシステム及び保守運用体制の確保

なお、本提案依頼書においては、構築期間を含まない 5 年間について、安定的な保守が可能なシステム構成、保守運用体制及び保守運用費用等の提案を求めるものであるが、本プロポーザルによる更新事業者の決定をもって、当該更新事業者との 5 年間の保守運用契約の締結又は契約期間を確約するものではない。

3. 調達範囲

区分	対象	提案内容
基盤	Hyper-V 仮想化基盤、共有ストレージ、バックアップ、NAS、UPS、プリンター	設計、調達、構築、試験、移行、保守
ネットワーク	L3 スイッチ、フロアスイッチ、無線 AP、境界 FW、プリンター接続	設計、調達、構築、切替、試験、保守
ソフトウェア	認証、グループウェア、メール、アーカイブ、更新管理、資産管理、プロキシ、RDS	ライセンス調達、設定、構築、連携、移行、保守

区分	対象	提案内容
セキュリティ対策	環境分離（強靭化）、インターネット閲覧、無害化、ファイル授受承認、ウイルス対策	設計、構築、ワークフロー、ログ、試験
移行	AD、Garoon、desknet's NEO、メール、ファイル共有、設定、資産情報、ログ	調査、試行移行、リハーサル、本番移行、切戻し
運用保守	問い合わせ、障害、メーカー調整	一元窓口、現地対応、報告、改善

4. 現行環境および前提条件

提案者は、現地調査を実施した上で提案すること。未確認事項については確認先、確認方法、期限、工程・費用への影響および代替策を記載すること。なお、現行の機器構成等の詳細について確認が必要な場合は、実施要領に定める方法により、事務局を通じて現行保守事業者へ確認すること。

前提項目	要求
ネットワーク	IP アドレス体系、VLAN、ルーティング、FW ポリシー、サーバ命名規則は、変更が必要な場合を除き現行を踏襲すること。
認証	AD のユーザー、グループ、OU、GPO、ログオンスクリプト、DNS、共有フォルダ権限等を移行対象とすること。
グループウェア	Garoon 5 から 6、desknet's NEO 3.5 から 9.6 への更新を前提とし、データ・設定の移行可否を事前に明確化すること。
関係者調整	更新事業者は、更新事業者決定後、本町、現行保守事業者、メーカーおよび関係システム事業者との協議、作業依頼、日程調整を主体的に実施すること。
既存設定変更	既存システムへの設定変更が発生する場合は、本町と協議、調整を実施し、方針を決定すること。

5. 提案に求める基本方針

・現行の構成、設定、運用、障害履歴および関係者間の役割を調査し、現行業務の継続性を確保すること。

・現行と同一または互換性の高い方式を優先し、変更する場合は変更理由、職員影響、移行リスクおよび代替運用を示すこと。

・閉庁日等を活用し、業務停止を最小化するとともに、判定基準が明確な切戻し計画を示すこと。

・職員による再入力、再登録、端末個別設定、手作業でのデータ補正および問い合わせを極力発生させないこと。

・現行保守事業者への依頼事項、責任分界、必要情報、リードタイムおよび費用を提案時点で網羅すること。

6. 機能・機器要求事項

以下の要求事項は必須とする。ただし、要求事項の目的を同等以上に達成できる代替方式がある場合は、その実現方式、同等性、メリット、制約、影響及び追加費用の有無を明示した上で、代替提案を行うことができる。

提案者は、各要求事項について、対応可否、製品・型式・バージョン、実現方式、前提条件、制約を回答すること。

数量・容量は設計時に現行使用量および将来増加を確認し、必要に応じて不足のない構成を提案すること。なお、本章に最低数量又は最低容量を定めているものについては、当該数量又は容量以上を確保すること。

6.1 仮想化基盤・ストレージ・バックアップ

ID	要求内容	重要度
HW-01	Hyper-V サーバによる仮想化基盤を 2 台以上とし、フェールオーバークラスター構成とすること。	必須
HW-02	共有ストレージに接続し、Hyper-V サーバ間で仮想ゲストの停止影響を抑えて移動できること。	必須
HW-03	高応答性の必要があるシステムには SSD 、それ以外のシステムには SSD もしくは HDD のディスクを割り当てること。また、RAID 構成によって可用性を高めること。	必須
HW-04	二次バックアップ先として容量 40TB 以上の NAS を導入し、RAID5 または RAID6 とすること。	必須
HW-05	構成、容量、性能、バックアップ時間および復旧時間のサイジング根拠を示すこと。	必須

6.2 UPS・ネットワーク・印刷

ID	要求内容	重要度
NW-01	UPS は 2 台以上の冗長構成とし、停電時にネットワーク経由で対象サーバを安全に自動停止できること。	必須
NW-02	L3 スイッチは 2 台のスタック構成とし、主系障害時に自動切替できること。	必須
NW-03	L3 スイッチと各フロアスイッチは光ケーブルで接続できること。	必須
NW-04	フロアスイッチは無線 AP へ PoE 給電でき、無線 AP は PoE 給電で起動できること。	必須
NW-05	無線 AP は Windows NPS と連携し、MAC アドレス制御を可能とすること。	必須
NW-06	LGWAN 接続系とインターネット接続系の境界、および LGWAN 接続系とマイナンバー利用事務系の境界に FW を構築すること。かつ、各 FW は冗長構成とすること。	必須
NW-07	プリンターは LGWAN 接続系およびインターネット接続系の 2 セグメントから印刷可能とすること。	必須

6.3 認証・グループウェア

ID	要求内容	重要度
C-01	LGWAN 接続系およびインターネット接続系に、Active Directory による認証基盤をそれぞれ構築すること。	必須
C-02	現行 AD データ、設定、権限および運用方法を可能な限り移行・継承すること。	必須
C-03	LGWAN 接続系グループウェアは Cybozu Garoon を採用し、現行 Garoon 5 から 6 へ更新して、データ・設定を可能な限り継承すること。	必須
C-04	インターネット接続系グループウェアは desknet's NEO を採用し、現行 3.5 から 9.6 へ更新して、データ・設定を可能な限り継承すること。	必須
C-05	バージョン差異による非互換項目、廃止機能、データ変換、文字化け、添付ファイルおよびワークフローへの影響を事前検証すること。	必須

6.4 メール・セキュリティ・資産管理

ID	要求内容	重要度
SEC-01	LGWAN 接続系およびインターネット接続系にメールをスプールできる仕組みを構築すること。	必須

ID	要求内容	重要度
SEC-02	受信メールのアーカイブおよびウイルスチェックを行い、送信メールの添付ファイル暗号化を実施できること。	必須
SEC-03	インターネット経由で受信したメールを無害化し、LGWAN 接続系へ転送できること。	必須
SEC-04	LGWAN 接続系およびインターネット接続系でウイルス対策を集中管理できること。	必須
SEC-05	サーバおよび PC の更新管理を実施できること。	必須
SEC-06	資産管理により端末情報・ログを収集し、端末のリモート操作および任意ファイル・アプリケーションの配信ができること。	必須
SEC-07	インターネット接続系にはプロキシをサーバおよび端末の一時接続先として構成すること。	必須
SEC-08	マイナンバー利用事務系端末から LGWAN 接続系 RDS へ接続できること。	必須
SEC-09	LGWAN 接続系からインターネットへのメール送信ができること。	必須

6.5 インターネット閲覧・ファイル授受

ID	要求内容	重要度
IN-01	職員が各自の LGWAN 端末から安全にインターネットを閲覧できること。	必須
IN-02	閲覧時のデータを LGWAN 端末へ直接保存できず、閲覧データにより LGWAN 端末が感染しない方式とすること。	必須
IN-03	インターネットから取得したデータは無害化の上で LGWAN 環境へ持込みできること。	必須
IN-04	LGWAN 環境からインターネット環境へのファイル持出しを可能とすること。	必須
IN-05	環境間のファイル授受は上長承認後に許可し、上長不在時等は権限・条件を限定した事後承認を設定できること。	必須
IN-06	AD 連携、申請・承認・却下・移動履歴、拡張子・容量制御、5 年以上のログ保存および CSV 出力に対応すること。	必須

6.6 保守期間・構築期間

ID	要求内容	重要度
OTH-01	ハードウェアおよびソフトウェアのメーカー保守サポートは、構築期間を含まず 5 年間確保すること。	必須

ID	要求内容	重要度
OTH-02	構築期間は更新事業者決定の日から令和 9 年 8 月 31 日までを予定し、本稼働日は令和 9 年 9 月 1 日とすること。	必須
OTH-03	現行保守事業者と打合せを行い、設定・運用手順をヒアリングした上で構築すること。	必須

7. プロジェクト遂行要件

項目	要求内容	提案時の提示資料
統括責任	本業務全体を統括する PM を配置すること。	経歴、役割、稼働計画
現行理解	現行構成・設定・運用を確認し、理解の根拠を示すこと。	確認済資料一覧、現行構成認識図、差分一覧
技術体制	AD、Hyper-V、FC、ネットワーク、メール、グループウェアの担当を明示すること。	体制図、責任分界、資格・実績
関係者調整	現行保守事業者等との会議、依頼、進捗、課題を更新事業者が統括すること。	会議体、依頼事項一覧、RACI
品質管理	設計・設定レビュー、試験、不具合、構成、変更を管理すること。	品質計画、試験方針、管理様式
現地対応	構築期間および重大障害時の現地対応体制を示すこと。	拠点、要員、出動フロー

8. データ移行・切替要件

8.1 移行対象

対象	主な移行データ・設定
Active Directory	ユーザー、グループ、OU、GPO、ログオンスクリプト、DNS、共有フォルダ権限、サービスアカウント
Garoon	ユーザー、組織、スケジュール、掲示板、メッセージ、ワークフロー、設備、添付ファイル、権限、スペース、ファイル管理、タイムカード、メール、アドレス帳、勤怠管理
desknet's NEO	ユーザー、組織、添付ファイル、権限、メール、アドレス帳

対象	主な移行データ・設定
メール	メールボックス、配送・中継設定
資産管理・更新管理	端末情報、管理ポリシー、配布設定、更新設定、ログ設定、管理サーバ設定
ネットワーク・セキュリティ対策	IP/VLAN、FW ポリシー、無線認証、無害化、ファイル授受承認ルート、ログ

8.2 移行計画に含める事項

- データ項目単位の移行可否、変換要否、移行ツール、移行元・移行先、検証方法および責任者を明示すること。
- 移行率は原則 100%を目標とし、移行できないデータ・設定がある場合は、対象、理由、件数、業務影響、代替参照方法、保存期間および職員作業を明示すること。
- 試行移行を早期に実施し、データ欠損、文字化け、権限不整合、リンク切れ、添付ファイル、日時、繰返し予定、ワークフロー状態等を検証すること。
- 本番前リハーサルでは本番相当データ量で所要時間を測定し、移行タイムチャート、要員、連絡網、判定基準を確定すること。
- 本番移行前後で件数、容量、ハッシュ値または製品固有の整合性確認を行い、利用部門による業務確認を支援すること。
- 切戻しの判断期限、判断者、対象、手順、所要時間、差分データの扱いおよび再移行方法を定義すること。

8.3 現行保守事業者との連携

- 現行保守事業者への依頼事項を、情報提供、設定抽出、停止、バックアップ、設定変更、立会い、復旧支援に区分して一覧化すること。
- 現行保守事業者が保有する設計書、設定値、運用手順、障害履歴および移行経験を活用し、重複調査と手戻りを削減すること。
- 既存システムの設定変更およびデータ抽出作業は、原則として現行保守事業者へ依頼し、更新事業者が依頼内容、日程、成果物、受入確認および費用を管理すること。

9. 運用・保守要件

ID	要求内容	提案事項
M-01	障害・問い合わせの一次窓口を一元化すること。	受付方法、対応時間、エスカレーション
M-02	平日開庁時間内に電話および電子メールで対応すること。	受付時間、休業日
M-03	重大障害時に 4 時間以内の現地対応が可能な体制を有すること。	起算点、対象障害、拠点、出動体制
M-04	メーカーおよび関係事業者との調整を更新事業者が実施すること。	責任分界、連絡体制
M-05	障害、変更、問題、構成、資産、ライセンスを管理すること。	管理方法、台帳、報告書
M-06	定例作業を可能な限り自動化し、職員が日常的に行う監視・ログ確認・バックアップ確認を削減すること。	自動化項目、通知方式、月間削減工数

10. 追加提案

追加提案がある場合は、本提案依頼書及び仕様書に定める要求事項を満たした上で、業務継続性、職員負担の軽減、運用効率化、情報セキュリティの向上、将来拡張性又は費用縮減等に資する内容について、導入効果、実現方法、必要費用、既存要件への影響及び運用上の留意事項を具体的に記載すること。

11. 提案書作成要領

11.1 提案書の構成

- 提案概要および本町課題の理解
- 現行構成・設定・運用の理解及び業務継続に対する考え方
- データ移行・切替・切戻し計画（想定される範囲で具体的に）
- 提案システム全体像および構成
- 要求事項への回答および実現方式
- 構築工程、実施体制、品質管理および関係者調整
- 運用・保守
- 追加提案
- 成果物、リスク、前提条件および見積

11.2 記載上の留意事項

- 要求事項回答票は、「対応」「代替対応」「非対応」「要確認」に区分し、根拠および提案書の参照ページを記載すること。
- 「代替対応」とする場合は、第 6 章に定める代替提案の考え方に基づき、要求事項の目的を同等以上に達成できることを示すこと。
- 必須要求事項について「非対応」又は「要確認」とする場合は、その理由、影響及び対応の可能性を具体的に記載すること。
- 標準機能、追加設定、個別開発、他製品連携および運用対応を区別して記載すること。
- 現行環境の理解および移行計画は一般論ではなく、南知多町の現行構成、設定、運用およびデータに適用する具体的な内容とすること。
- 提案書、要求事項回答票および見積書の対象範囲、数量、用語および前提条件を一致させること。

12. 現行保守事業者

事業者名：株式会社日立システムズ中部支社

住所：愛知県名古屋市中区栄１－２４－１５

別紙 1 要求事項回答票（様式案）

ID	要求事項	重要度	対応区分	実現方式・根拠	前提・制約	追加費用	参照頁
例	AD のユーザー、グループ、OU、GPO 等を移行すること。	必須	対応	［記載］	［記載］	無・有	p.

別紙 2 見積条件（様式案）

費目	費用(抜)	備考
ハードウェア		
ソフトウェア・ライセンス		
設計・構築		
データ移行・切替		
現行保守事業者・関係事業者作業		
保守		
教育・マニュアル		
その他		
更新業務　計		
運用保守（5 年総額）		
期間総額		

【見積区分補足】

（1）更新業務に係る費用

令和 8 年度及び令和 9 年度に実施する機器・ソフトウェア等の調達、設計、構築、設定、データ移行、試験、教育、その他本稼働までに必要となる費用を計上すること。

また、本システムの稼働後５年間の利用又は保守に必要となるメーカー保守、ソフトウェアライセンス、サブスクリプション、その他これらに類する費用であって、システム導入時に調達するものについては、５年間分を更新業務に係る費用として計上すること。

（２）運用保守業務に係る費用

令和９年９月１日から令和 14 年８月 31 日までの５年間について、問い合わせ対応、障害対応、技術支援、運用支援、その他の人的役務の提供に係る費用を計上すること。

なお、運用保守に係る費用は、本プロポーザルにおける提案内容及び期間総額を評価するための参考として提出を求めるものであり、本プロポーザルによる更新事業者の決定をもって、当該更新事業者との５年間の保守運用契約の締結又は契約期間を確約するものではない。